



まずは、単元のねらいと評価規準を設定しましょう

- ねらい**・ボール操作と空間を作りだすなどの動きによって、ゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。（知識及び技能）
- ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。（思考力、判断力、表現力等）
 - ・バスケットボールに自主的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、仲間の学習を援助しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。（学びに向かう力、人間性等）

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 ①バスケットボールの特性や学習の進め方、安全面の注意について理解している。 ②基本的な技術の名称や行い方を理解している。 〈技能〉 ③安定したボール操作を行うことができる。 ④ボールを持っていないときの動き（空いている場所に走り込む・作りだす、広がる・絞る）ができる。	①自己の技能に応じたボール操作の練習を選んでいる。 ②自己やチームの課題、作戦や戦術について話し合い、他者に考えを伝えている。 ③ボールを持っていないときの動きやボール操作についてのポイントを他者に伝えている。	①安全に留意し、主体的に取り組んでいる。 ②チームにおける自分の役割を確認しながら、参加しようとしている。 ③仲間と協力して作戦を考えたり、フェアなプレイに配慮したりしながらゲームをしようとしている。

つぎに、ゴールを見据えて単元を構想しましょう

※評価の詳細については Web 版を参照

単元の指導と評価の計画

（丸数字は単元の評価規準と関連付けて評価の重点を示しています。）

時間	主な学習活動など	知	思	態
1	バスケットボールの特性や学習の進め方、安全面の注意について理解する。試しのゲームをする。	①		
2	基本的なボール操作（ドリブル、パス、シュート）の練習を行う。自己の技能に応じたボール操作の練習を選んでいる。	③	①	
3	動きながらパスを受けシュートを打つ練習を行う。技術の名称や行い方を理解する。	②		
4	空いている空間を意識して、ルールを守りながら3対2のゲームを行う。			①
5	3対3のゲームを行い、オフェンスをするときの空間を作りだす動きを考える。ボールを持っていないときの動きについてポイントを他者に伝える。		③	
6	3対3のゲームを行い、ディフェンスをするときの空間を埋める動きを考える。空間を埋めるようなディフェンスの仕方について話し合い、他者に伝える。		②	③
7	自分の役割を確認しながら、ボールを持っていないときの動きを意識して5対5のゲームを行う。	④		②
8	5対5のリーグ戦を行う。	総括的な評価		

単元の見通し

チームで作戦を立て、ゴール前の空間をめぐる攻防が展開できるようゲームを中心に単元を構成します。チームの課題を発見し、その解決に向けて自分の考えを伝え合う活動を大切にしたり、チームの課題に合わせた基礎練習を選択できるようにしたりします。これにより、生徒は主体的に学習に取り組めるようになり、勝敗を競う楽しさや喜びを味わいながら、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようになります。



ICTの活用

タブレットを使って、全時間の学習計画や参考となる動画等を個人で確認できるようにします。参考となる試合等の動画を用いることで、短時間で活動のイメージをもつことができ、運動量の確保につながります。また、ゲーム中の動きを撮影した動画から気になった場面を静止画にし、ポイントを書き込みます。それらを共有することで話し合う視点が明確になり、課題が発見しやすくなります。動画や静止画は保存し、振り返りの材料として活用することができます。

本時のねらい オフェンスをするときの空間を作りだす動きについて考え、チームの仲間と伝え合うことができる。

この時間は、前時までに身に付けた技能を生かしてゲームを行うために、空間を作りだす動きのポイントを考えます。フリーでパスを受けるにはどうしたらよいか、ゲームの動画を見ながら自分なりに考え、仲間と話し合うことで考えを広げ、深めていきます。

学 習 活 動



本時の見どころはココ！

1 本時のめあてと学習内容を確認する。

フリーでパスを受けるにはどうすればよいかを考えよう。

- 前時に学習した「ゲームの行い方」「空間を見つけるときのポイント」を短時間で振り返ることができるよう動画を用います。



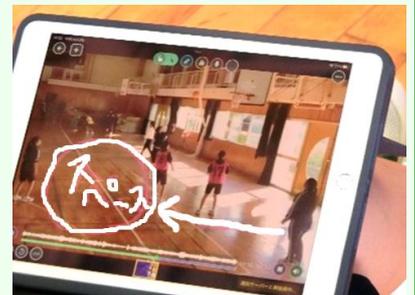
2 チームごとに準備運動と基礎練習を行う。

- チームの課題に合わせた基礎練習を選んで行う。

3 3対3のゲームを行う。

- オフェンスをするときに、空間を作りだす動きを意識する。
- ゲームをしていないチームが、撮影を担当する。

- ゲームをしていないチームが撮影した動画を共有させ、生徒がそれぞれのタブレットから見られるようにします。
- 各自で注目すべきポイントを見付けたら、動画をスクリーンショットし、ポイントが分かるように書き込みます。
- ポイントを書き込んだタブレットを用いて、仲間と考えを共有することで、空間を作りだすための動きについて視覚的に理解し、考えを広げたり深めたりすることができるようにします。



4 ゲームの動画を見てポイントを考え、仲間に伝える。

- 空間を作りだす動きのポイントを考える。
- 考えたことを伝え合う。



ボールを持っていないときに止まったままだったから、動いてスペースを作るようにすればよかったわ。



5 本時の振り返りをする。

- ロイロノートを活用して記入する。

スペースを作るには、声を掛け合うなどチームで協力することも必要だね。



生徒の振り返り

書き込んだスペース(右写真)に走り込んでパスがもらえると、ゴール前でフリーでパスをもらい得点チャンスになると思いました。ボールを持っていない人が、スペースを見つけて走り込むことが大切だと思いました。ゴールの近くにスペースができるとシュートしやすいので、ゴール前に集まらないようにしたり、ディフェンスを引き付けたりして、チームで協力してスペースを作りだすことが大切だと思えます。タブレットを見ながら話し合うことでよく分かりました。



最後に、単元を振り返り、生徒にどんな力が身に付いたか確認しましょう



導入時に単元全体の学習計画を示したことで、生徒は見通しをもって取り組むことができ、毎時間の振り返りに次の授業でやりたいことや改善したいことを書くなど、主体的に活動する様子が見られました。タブレットを用いると動画等の参考資料を、短時間で分かりやすく、繰り返し見ることができ、攻撃側、守備側など複数の視点の情報を関連付けた思考につながり、作戦に応じた技能を用いて仲間と連携しゲームを展開することができました。